

「犯罪や非行のない明るい

社会づくり」

小田原市立千代中学校

三年 大木 梓

私たちが毎日安心して暮らすためには、
「犯罪や非行のない社会」が必要です。

しかし、ニュースでは、万引きやいじめ、詐欺などの事件が毎日のように取り上げられることも多く、「どうして毎日のようにこんなことが起こってしまうのか」と考えました。

そこで犯罪や非行に走ってしまうのは、まず一つ目は、家庭環境や学校などでの周囲の環境による孤独や不安であると思います。悩みや不安なことを誰にも打ち明けられなかったり聞いてもらえなかったりすることによって悩みを抱えたまま、心が不安定になり、間違った行動につながってしまうのだと思います。

二つ目は、周りの人の影響で、特に友達や先輩などの身近な人からの勧誘や断れずに流されてしまうことです。初めは軽い気持ちでやったことであっても、次第に悪い行動が当たり前となり、自分では止められず、問題や状況が深刻化していくのです。また、「断ったら相手によくしてもらえなくなる」という不安から、「本当は嫌なのに断れない」場合もあります。だからこそ、自分の行動や言動には責任を持ち、「本当に正しい判断か」を考える力を育てることが大切だと思います。逆に、悪いことに誘われた時に、断わる勇気を持ち、「やらない」と言える強さを身につけることも大切です。

例えば、私達の学校では、「千代中ヒーロー」という、親切的な行動をとることができる人のことを指し、「千代中ヒーロー」が発見されると給食の時間に放送があり、全校に放送されます。この取り組みによって一人ひとりが「千代中ヒーロー」という意識をもつき

っかけとなり、今では学年、学校全体が一丸となつて、よりよい学校生活を作りあげようと、清掃活動や地域の人々と協力し、学校以外にも意欲的に取り組んでいるように感じました。

よつて、犯罪や非行を減らしていくために、地域やその他多くの人の支えや見守りによつて、あたりまえに安心して過ごせている日々や、家庭や学校、地域などが安心できる場所になつてゐることを改めて感じました。また、犯罪や非行をなくすために、私達に出来ることは、自分の身の回りの人に困つていそうな人がいないか声をかけてあげたりすることも大事だと思ひます。私のクラスに転校してきただかりの子に声をかけて、話しやすい空気感を作ること一つの小さな支えとなると思ひました。

このように、次の世代を担う私達にとって、犯罪や非行のない明るい社会は、誰か一人がつくるものではなく、自分たち一人ひとりが

「思いやりの心」を持って行動すること、
少しずつ実現に近づくと思えます。これから
も私は、身近な人を大切にし、人と人とのつ
ながりを大事にし、明るい社会づくりへと貢
献していきたいです。